

# 市制 70 周年記念 第 32 回 川西市展入選目録

## 特別賞 青木賞 (市長賞)

洋画の部

「冬陽に遊ぶ」

渡辺 良子 (川西市)



## 特別賞 平通賞 (議長賞)

彫刻・立体造形の部

「将来の世を憂い思う」

神山 美登里 (茨木市)

## 特別賞 川西市美術協会賞

絵画の部

「子守」

木谷 音野子 (東大阪市)



### □ 部 門

一般部門 洋画、日本画、書、彫刻・立体造形、工芸、写真、現代美術

U18部門 絵画、書、写真

### □ 入選作品 令和6年1月30日(火) ~ 2月3日(土)

展示期間 午前10時 ~ 午後5時 (最終日は午後3時まで)



市ホームページはこちらから

主催 川西市

## ■洋画の部

一席 ふゆひ あそ  
冬陽に遊ぶ 渡辺 良子



二席 祈り 松井 靖

三席 雑踏 岡山 昌弘

奨励賞 あしゆら しぶき  
阿修羅の飛沫 井上 節生

奨励賞 夕焼けの棚田(笹部) 畑 弘子

奨励賞 たてはらみちぞう  
立原道造「のちのおもいこ」 早川 博唯

奨励賞 魚の棚 野村 和男

奨励賞 日常の響 中島 広子

奨励賞 波立つ水蓮の池 広瀬 敬三

奨励賞 おうみ  
近江の酒屋 赤尾 正武

奨励賞 あげぼの 樋口 秀臣

奨励賞 悦び 浅田 誠子

入選 こうよう  
紅葉 岡島 信博

入選 水の森 河野 満

入選 中世都市サン・ジミヤーノ(イタリア) 原田 雅男

入選 よさこい 東 幸芳

入選 新しい街 川島 千香子

入選 日が暮れるまで 久田 泰子

入選 にちらんこう えきものがたり  
日蘭交易物語 川島 實

入選 みむろ とじ  
三室戸寺 横川 武利

入選 びら でぐらふいていー  
ville de graffitis 大西 昭博

入選 せき  
水車小屋の堰(モレにて) 稲継 佳久

入選 2023年1月5日 午後 稲垣 泰造

入選 収穫を待つ 安久 進子

入選 すいれん  
睡蓮の池 黒田 公子

入選 パリの裏通り 田中 耕治

入選 出港準備 河合 和彦

入選 さとやま いっけい  
里山の一景 小畑 利宏

入選 収穫 林 朋子

入選 せつつきよう  
摂津峡 森本 功

入選 しらかべどぞうぐん  
白壁土蔵群 高井 勝

入選 晩秋 岩崎 勝子

入選 路地裏の詩 吉倉 稲穂

入選 だいば  
台場クヌギ 明渡 康子

入選 みのおのたき 山中 秀夫

入選 スタンドバイミー 安田 賢二

入選 悲しみを抱いた幸せ 田中 まき子

入選 癒しの緑 中尾 昇二

入選 廃線を歩く 松本 敏子

講評 大東 明宏・古野 恵美子

今年は、出品点数が例年より少なかったのですが、どれもしっかりと書き込まれた作品ばかりで、入落を決めるのが難しかったです。もっと大きな画面に挑戦すると、空間が広がりさらに見ごたえのある作品が増えると思います。

一席の「冬陽に遊ぶ」は、人があまり見向きもしないであろう枯れた雑草の中に作者は美を見つけ、色彩を絞った茶系統で描き起こしていく力量が見事です。絡まった茎の動きがリズムカルで、光の当たり方も魅力的です。

二席の「祈り」は、主に鉛筆で描かれた作品です。鉛筆の線のグレーの重なりが画面に密度と奥行きを生んでいて、部分的に配された黄色とブルーの色彩との対比が印象的です。作者が表現したいテーマが、しっかりと作者の中で消化され見る人に自然に伝わってくる点がとても良いと思います。

三席の「雑踏」は、人影を想起させるシルエットが画面に配され、色彩と明暗のリズムが心地良い作品です。かなり横長の画面もユニークで、作者の狙いを感じます。さらに、画面全体を支える大きな構成を意識されることで、より緊張感のある画面に迫れると思います。

## ■日本画の部

一席 紅梅

道畑 常美



二席 つなぐ

増田 史男

三席 春の喜び

楠井 加奈

奨励賞 すいふよう  
酔芙蓉

夏川 和子

奨励賞 33才のクレオパトラ

板野 英子

奨励賞 よ  
善い風がふく

植田 公子

入選 無言の会話

植田 凱夫

入選 ついおく  
追憶

井上 朋子

入選 花

柴垣 傳子

入選 初めての秋

山本 富美子

入選 はす  
蓮

柚木 美恵子

入選 不思議の森の子供たち

河野 威士

入選 ひとやすみ

小山田 明美

入選 みのおおたき  
箕面大滝

井川 敏一

入選 春の兆し

山岸 智子

入選 はす  
蓮

橋本 和代

入選 いちぢく

和田 佐代子

講評 井上 美紀・田中 達也

今年は全体的に穏やかな作品が多く、審査も比較的スムーズに進めることができました。作品から出る明るさはまさにコロナが明けた今を感じることができ、審査中も終始笑顔でいられた事に、改めて絵の力を出品者の皆様から教えてもらいました。

審査をする中でいつも思うのは素直に作品と向き合っているかです。もちろん技術も必要な場面もありますが、何よりもどれだけ粘って書いたか。作品と対話できているかだと思っています。結果的に今回、賞がついた作品はそこがより見えた作品たちだったと思います。技術差はほとんどありません。皆様の次回作も期待しております。

一席の「紅梅」は、梅の頃の空気が感じられます。樹の勢い動きが強く表現され、花のひとつずつの表現、全体の中での強弱のバランスも良いです。

二席の「つなぐ」は、少し肌寒い梅の花が咲く2月から3月の空気感が良く表現された作品です。メジロを一羽置くことで春へと向かう季節の変わり目を予感させているところに作者の詩情を感じました。

三席の「春の喜び」は、しっかりとした写生に基づき好感が持てる作品です。絵具(色)の発色も美しく爽やかで良いです。つるの表現と花と蝶の位置(特に左上)にもう一工夫ほしいです。

## ■書の部

一席 がんとうしよきよぶよ  
雁塔聖教序

井上 愛



二席 舞い上がれ

後藤 明日香

三席 ちょうこし  
張祜詩

横山 青波

(次頁に続く)

## ■書の部 つづき

奨励賞	りんれつ 凜冽	福岡 淳
奨励賞	ごごんにく 五言二句	三浦 芳雨
奨励賞	たんちようつる 丹頂鶴	清水 和義
入選	とうた だじんじゃ 訪多田神社	川口 登美子
入選	徳川家康遺訓	鍋倉 京子
入選	そうだいし 宋代詩	下村 友樹
入選	吉井勇の歌	小田 美夕紀
入選	としょうよえしゅう 杜少陵詩集	高田 陽子
入選	ほじょうかくにのぼるえんがいし 登浦上閣袁凱詩	高橋 香華
入選	りえい し 李郢詩	酒井 白鷺
入選	りくこん さんそう 陸渾の山荘	高橋 鮎
入選	きょこん し 許渾詩	永井 紅丘
入選	しょううん 祥雲	中島 久夫
入選	しょう 笑	いそべ ゆうこ
入選	しょ こうしょこうじつ 書「好書好日」	畑中 義以

講評 和田 英翠・穴澤 暎煌

頑張って書かれた作品が並び、皆さんの練習量がうかがわれましたが、自分の作品にしつとも誤字が見られました。手慣れたときに、もう一度作品の見直しをしてほしいと思います。

作品の大小に限らずいろいろな作品を出品してほしいと望みます。誤字をなくし、たくさん作品が並んでほしいです。

一席の「雁塔聖教序」は、キリリとした鋭い線が魅力的で、よく表現されています。

二席の「舞い上がれ」は、強弱がはっきりしていて暖かい作品です。

三席の「帳帖詩」は、ふくらみのある字で、どっしりとした線が魅力的です。

仮名の場合は、もう少し線の流れを正確にしてほしいです。次に期待しています。

## ■彫刻・立体造形の部

一席 将来の世を憂い想う 神山 美登里



二席 あいしよと あんてい うおーぼる  
I SHOT ANDY WARHOL 安田 正裕

三席 イケメン ヒクイドリ君 中本 通子

奨励賞 シロツメ草の花が咲いたら… 森上 恵子

奨励賞 器に群がるチョウチョ達 横山 豊

入選 恐竜ワールド 畠山 忠美

入選 びしゃもんでんりゆうぞう  
毘沙門天立像 川島 實

入選 皆既月食 川西の空に 中川 良子

入選 じらふ giraffe 南谷 喜彦

入選 旅するかたち・あかるいほうへ 宍戸 あゆみ

講評 長野 久人・中西 學

本応募作は制作者の特別な心情が表れ、様々な材質(紙、陶、FRPなど)による作品が目立ちました。丁寧に制作された塑像をはじめ、動く彫刻、ミックスメディアの作品が印象的でした。

一席の「将来の世を憂い想う」は、ウクライナ、パレスチナの紛争と能登半島地震の惨状を憂いた若者の立像と思われま。鎖骨が浮き出た、痩せて遠くを見つめ黒褐色に採色された姿が、人間の強靱な精神への希求を感じられる表現になっています。

二席の「I SHOT ANDY WARHOL」は、ポップアートを象徴する要素で構成され、ユニークな造形物となっています。また細部の表現を丹念に制作され、完成度が高く、秀逸な作品です。

三席の「イケメン ヒクイドリ君」は、ヒクイドリの頭部だけが垂直に立ち上がっている作品です。鮮やかに彩色され、キリリと開かれた眼に親鳥としての強さとやさしさが表現されています。



## ■工芸の部

一席 サンタのみやげ話し

乾 恵



二席 けんぼなしふきうるしかざりぼこ  
献保梨拭漆飾箱

松井 宏二

三席 あいがたぞめ むくげ  
藍型染・木槿のイス

前田 道子

奨励賞 キョウジョ シギ

竹内 清

奨励賞 般若面

兵庫 豊

奨励賞 ふぶき おおなつめうすちやき  
雪吹・大棗薄茶器

池之浦 大起

入選 クエと老人

山崎 茂久

入選 祈り

濱口 葉子

入選 たか  
鷹の囀

大橋 美知子

入選 や かん  
野干

森島 紀明

入選 たちびなししゅうがく  
立雛刺繍額

藤井 淳子

入選 別府まちなねこ

池寄 凌一

入選 晴れの日

鷹野 貴子

入選 Junk Food

宮路 都羽

入選 碧(あお)い壺

大井 良和

入選 こま かく  
「祈り」護摩供

東野 昭

講評 泊里 涼子・堀内 晴美・森田 隆司

作者の方々の強いエネルギーを感じる作品ばかりで、審査する方も身の引き締まる思いでした。今後も創意あふれる素晴らしい作品が出展されることを期待しております。

一席の「サンタのみやげ話し」は、毎年発想豊かな陶郡像作品を観せて頂くのを楽しみにしています。今年度もサンタが世界の子供達の話や動物達にしている作品で、この地球に生きる全ての生き物に対する深い愛情が感じられる素晴らしい作品となりました。

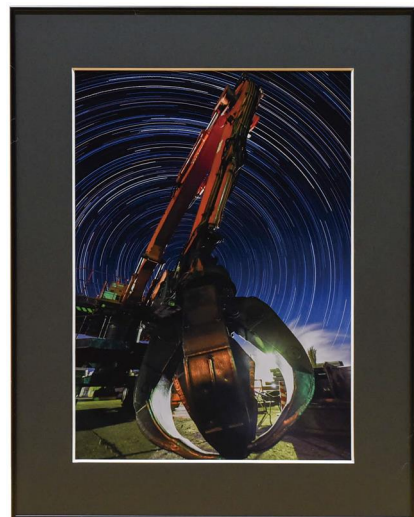
二席の「献保梨拭漆飾箱」は、非常に丁寧な手技に感心させられました。装飾部のエッジや箱部の角の処理が美しく、空目を活かした拭漆も艶やかで、今後の経年変化も楽しみな作品です。

三席の「藍型染、木槿のイス」は、工芸美術には、観て美しい鑑賞の美と生活空間で用いられる用の美の二つがあります。藍を用いて染められた一日花(木槿)の布を、来客用の椅子の背と座に使用され、さぞかしお客様も大喜びされること間違い無しと思います。

## ■写真の部

一席 UFOキャッチャー

本田 健二



二席 きんしゅう  
錦秋に祈る

秀平 恵子

三席 いちようらいふく  
一陽来復

成平 博

## ■写真の部 つづき

奨励賞	マジカルアート	宮脇	雪子	入選	Welcome to Japan	古川	和男
奨励賞	一庫ダム <small>しゅんがい</small> 春景	田中	善	入選	窓	長崎	隆之
奨励賞	夕陽 <small>たいこうぼう</small> と太公望	田口	淳弘	入選	バトル	梅原	昇
奨励賞	師、走る頃	岩井	健次	入選	雌雄対決 <small>しゅうたいけつ</small>	名越	章
奨励賞	人生行路	猿渡	明	入選	闘魂	武田	一美
奨励賞	霧の朝	馬場	和正	入選	本物の私はどれ？	澁谷	由紀子
奨励賞	厳冬 <small>げんとう</small> の湖畔 <small>こはん</small>	前田	安活	入選	砂女像 <small>すなによぞう</small> からの伝言	安居	公平
奨励賞	海渡御 <small>うみとぎよ</small>	数藤	守治	入選	追っ手	四宮	泰樹
奨励賞	花火飛ばす人	宮下	忠明	入選	古道	岡田	潤一
奨励賞	夜の帳が下りる頃	前田	千代子	入選	ねむいねむい	前田	弘志
奨励賞	Sparkling	阿部	信夫	入選	怖いもの知らず	亀田	政彰
奨励賞	郷の海	浅野	三雄	入選	Uターン	亀田	喜代子
奨励賞	毛嵐	上月	正美	入選	ビッグ・ハープ	柏木	浩
奨励賞	残照	宇田川	洋二	入選	噛んじゃうゾ！	清水	和男
奨励賞	破顔のチカラ	菅野	みね子	入選	京暖簾 <small>きよのれん</small>	田中	孝
奨励賞	露地 <small>ろじ</small>	池本	泰博	入選	煌々 <small>こうこう</small>	三ッ橋	洋
奨励賞	祭化粧	清水	晴夫	入選	母の想い	松尾	隆子
奨励賞	名月へRUN	中塚	義昭	入選	お手火祭り	岡村	佳代子
入選	夜間飛行	玉置	喜章	入選	雪ん子	宮地	種光
入選	帰り路	梅崎	光政	入選	陽炎 <small>かげろう</small>	菊池	惇一
入選	時の痕跡	三吉	孜	入選	街の誇り・溪 <small>たに</small> のサクラ	天宅	宏
入選	飛行見習い	有瀬	清美	入選	夕照 <small>せきしょう</small>	片山	正
入選	天空の里	岡本	武久	入選	渾身力	常木	良一
入選	湿原に舞う(サギソウ)	木村	和重	入選	山里の春	大橋	豊
入選	飛揚 <small>ひよう</small>	近藤	博	入選	宵 <small>よい</small> に浮かぶ	羽馬	芳壽
入選	秋色に染る	岡本	喜美雄	入選	落陽 <small>らくよう</small> の刻 <small>とき</small>	石原	修
入選	花筏 <small>はないかだ</small>	井関	静雄	入選	天を衝く	村山	明
入選	春を待つ	桑原	善孝	入選	鎌切	中村	日出夫
入選	シンフォニー	桑原	弘子	入選	けあらしの朝	木下	朱美
入選	富士の秋夕映	松本	航	入選	輝く城	田中	美和
入選	冬支度	上柳	恒雄				
入選	リニューアル	波多野	博				

## ■写真の部 つづき

講評 古家 輝雄・クキモト ノリコ

地球規模のコロナ禍の閉塞感から開放されつつある本年は、表現の楽しさや、作品を創る喜びを感じたり、独創性に挑戦し観る人の心を豊かにさせるような、応募者それぞれの想いのこもった、多様で意欲的な106点もの作品が寄せられました。審査は写真アートを直視し基本を考慮させていただきます。

一席の「UFOキャッチャー」は、星の比較明合成という技術的なこともさることながら、重機の先端部分を超広角レンズの特徴を活かしてデフォルメさせた上に背景に星を組み合わせることで、「UFOキャッチャー」というタイトルが見事にピッタリとハマっています。

二席の「錦秋に祈る」は、寺院の境内に華やかに色づく真紅のドウダンツツジを本堂の座敷越しに眺めて、住職と和服女性の説法シーンが美しく表現されています。絵のような世界感と美しさが画面を支配し、また磨かれた床には、その情景が映り込んで、ふんわりとした幽玄な空間が見事に映像化されています。

三席の「一陽来復」は天窓から差し込む光が降り注ぐ様を、古民家の室内のディテールと合わせて見事に表現されています。囲炉裏に立ち昇る煙と炎が良いアクセントとなっていますが、ここに人の気配が感じられるとより一層ドラマが感じられそうです。

## ■現代美術の部

一席 Back to nature. -自然に帰る- 松浦 良明



二席 妖精のささやき 柚木 美恵子

三席 万華鏡 簗原 侃子

奨励賞 Flight Of Ikaros 安田 正裕

奨励賞 第2変奏曲 摩天 (大震災後も夜が明けるNo.110) シュウ

入選 The Air 西川 輝彦

入選 目は口ほどに 石田 貢

入選 イエローコスモスの星 柏木 浩

入選 静海 中嶋 恭子

入選 スタートグレープピッキング 鈴木 美代子

入選 来るのは希望か 鈴木 基光

入選 街の音 藤原 ゆかり

入選 逕路 塚本 秀之

入選 Drops 芝谷 桂

## ■現代美術の部 つづき

講評 神野 翼・元永 紅子

今回の作品たちは芸術の構造的な美しさと、作家の持つ個性的な現実に対する視座の両輪が上手く噛み合ったものだったと感じました。閉塞する既成概念から脱却する新しい価値観を芸術を持って表現して頂きたいものです。

一席の「Back to nature. - 自然に帰る -」は、金色で覆い被された形たちが顔を出し、未来のわくわく感が感じ取れる効果的な作品になっていると思います。その先はどうなるのだろうか？と想像を掻き立てられます。

二席の「妖精のささやき」は、「やさしさ」という難しい表現に、作者の内面を垣間見た様な気になる作品でした。額にとらわれずにもう少し大きく解放してみても良い様な気がしました。

三席の「万華鏡」は、絵画というものが絵具の積層という具象的な事物であると言う事を回視すると共に、そこから浮上する抽象的な構成が美しく他に同類を見ない唯一性が見られます。更に自己表現を迫及して頂きたいです。

## ■絵画の部

一席 こもり  
子守

木谷 音野子



二席 おうぎわし  
扇鷺

宝住 碧

三席 商品のお風呂

齋藤 莉亜

入選 つかまりだち

武智 朱音

講評 大東 明宏・古野 恵美子

今年からU18部門が新設されました。絵筆を握る人の裾野が広がり、今後川西市展のさらなるレベルアップにつながることを願っています。

一席の「子守」は、画面いっぱい配されたぬいぐるみが、一つ一つ丁寧に描かれています。画面の主役の女の子の表情は見え、抱いたウサギのぬいぐるみからは涙が一滴。物語を感じさせる魅力のある作品です。

二席の「扇鷺」は、ペンで緻密に描かれた作品です。鋭い口ばしと眼光がよくとらえられ、見る人に強さが迫ってきます。背景も含めた表現を探っていくことで、より絵画世界が広がっていくと思います。

三席の「商品のお風呂」は、買い物かごに入り込んでいるのは作者自身でしょうか。発想がとてもユニークで、足の裏がこちらを向いている構図も生き生きとしていて良いですね。もっとまわりも物だらけの作品も見てみたいなと思いました。



◆ 各部門審査員 ◆

(順不同、敬称略)

<洋画・絵画>

大東 明宏・古野 恵美子

<日本画>

井上 美紀・田中 達也

<書>

和田 英翠・穴澤 暎煌

<彫刻・立体造形>

長野 久人・中西 學

<工芸>

泊里 涼子・堀内 晴美・森田 隆司

<写真>

古家 輝雄・クキモト ノリコ

<現代美術>

神野 翼・元永 紅子

◆ 特別賞審査員 ◆

川西市長

越田 謙治郎

川西市議会 議長

大崎 淳正

川西市美術協会 会長

鳥居 夔

(公財)宝塚市文化財団 理事

大野 良平

川西市市民環境部長

岡本 匠

◆ 特別賞について ◆

特別賞の青木賞、平通賞は、昭和を舞台に活躍された川西ゆかりの芸術家に因んで名づけられました。

青木賞は、青木大乘（あおき だいじょう）画伯の名前をいただきました。青木画伯は、明治24年大阪に生まれ、新燈社洋画研究所、卯木に大日美術院を開き、洋画から日本画へと世界を広げました。戦後、川西に移り住んで創作活動を続け、昭和54年に亡くなられました。

平通賞は、平通武男（ひらどおり たけお）画伯に因んでいます。平通画伯は明治40年大阪に生まれ、新燈社にて青木大乘画伯に師事。東光会審査員から日展審査員へと洋画の世界で活躍を続け、戦後は川西に住まわれ、日展参与となられた後、平成3年に亡くなられました。

両画伯のご遺族により、川西市に青木大乘画161点、平通武男画146点の絵画が寄付され、川西市郷土館内に両画伯の記念館「ミュージーゼ レスポアール」が平成7年に開館し、両画伯の絵画を鑑賞できます。

また、第25回川西市展時に川西市美術協会賞を新設し、青木賞、平通賞と同じく一席の作品の中から選出しています。

◆ 第32回川西市展応募状況等 ◆

□ 一般部門

部 門	出品点数	入選点数	入賞点数
洋 画	53	39	12
日 本 画	17	17	6
書	18	18	6
彫刻・立体造形	10	10	5
工 芸	16	16	6
写 真	106	65	21
現代美術	14	14	5

□ U18部門

部 門	出品点数	入選点数	入賞点数
絵 画	4	4	3
書	-	-	-
写 真	-	-	-

	出品点数	入選点数	入賞点数
合 計	238	183	64